

GWI アップデート 2019 年 5 月 29 日号

GWI と国別組織は「月経衛生デー」を祝う

毎年 5 月 28 日に迎える「月経衛生デー」は、世界各地の女性と女兒が彼女らの月経が原因で様々な無用な困難に直面し続けていることに注意喚起してくれる。今年は GWI にとって 2 年目となる「月経衛生デー」であった。今回も GWI は、MHI・月経衛生由来の困難【仮訳】に関する啓発を行う、ある「月経衛生デー」組織と協同している。2019 年のテーマは「どの女兒も取り残さない：月経衛生に関する教育のために行動しよう」である。

GWI と傘下の国別組織 (NFA s) は、月経衛生由来の困難 (MHI) に起因する有害な影響や、すべての女性や女兒が安全で統一された方法で平等に月経衛生を管理できるよう支援していく重要性を啓発すべく積極的に貢献している。NFA s の中でも、スコットランド大卒女性 (GWS) は、2016 年から 2017 年にかけて課題の詳細な調査に尽力し、それは 2017 年 7 月のスコットランド地方政府による、経済的に恵まれないアバディーン的女性や女兒への衛生用品無料配布の試験事業の実施につながった。この試験事業の成功によって 2018 年はさらに事業が拡大し、スコットランド地方政府はスコットランド全域の児童や学生に無料の衛生用品を提供するための予算 520 万ポンドを計上した。

「2019 年 1 月に公共の場で衛生用品が無料で提供されることが発表され、先の動きが水平展開し続けていることを喜ばしく思っています。」と GWS 国際関係理事 (CIR) の Catriona Sutherland は言う。「他の途上国が直面する問題はずっと広範囲にわたるとは理解していますが、この運動は私たち自身の国の貧困対策となり、最も貧しい家族たち、その家庭と仕事を必死でやりくりする中心となっているに違いない女性たちを助け、一つのストレス原因を取り除くのに役立つのではないのでしょうか。」と彼女は付け加えた。

月経衛生由来の困難 (MHI) を予防し、女性や思春期に入った女兒の支援とエンパワメントをより急がせるため、「月経衛生デー」にすべての人の参加を促進することを目的として、GWI は Women' s United Nations Report (WUNRN) 【女性と少女に関する国連の情報をレポートし配信する NGO】の記事を元に、ソーシャルメディアですぐに使える画像を加えた包括的でインパクトある道具箱一式 toolkit を提供している。toolkit へのアクセスは[こちら](#)から。

GWI アップデート 2019 年 5 月 15 日号

JAUW が自然災害による遺児への奨学金プロジェクトの完了をお知らせ

日本の大学女性協会 (JAUW) は、日本を襲った大地震と津波から 8 年となる 2019 年 3 月に、親を失くした高校生たちを支援してきた 5 年プロジェクトを終了すると報告した。

「この緊急プロジェクトは最後の申請者たちが高校もしくは高等教育課程を終えるまで 8 年間続きました。」と当時の JAUW 会長青木怜子氏は言う。「このプロジェクトにより合計 20 名の学生が学び続ける機会を得たのです」と彼女は付け加える。「現在彼ら、彼女らは進学、または専門的職業を歩んでいます。このプロジェクトは日本国内外の GWI 会員の支援なしには決して達成できませんでした。彼女らの支援は単に経済的なものにとどまりませんでした。彼女らは継続的に私たちの心に働きかける励ましや協力を申し出てくれ、私たちが目的を達成することを助けてくれました。」

JAUW はこの貴重な経験を基にしたワークショップ「危機下のネットワークと GWI のミッション」を今年 7 月のジュネーヴでの 100 周年記念大会・総会「教育を通して平和を」において開催すると発表できることを喜ばしく思っている。

このワークショップは、ネットワークの活用を通じてレジリエンス（回復力）を高め、若者が危機を生き抜き、乗り越えられるよう支援していくための効果的なプロジェクトの企画者やまとめ役となる方法を、ワークショップのすべての参加者が学べるように設計されている。

GWI アップデート 1 May 2019 年 5 月 1 日号

GWI の国連代表 Ingrid Szabolcs によるウィーンの麻薬委員会報告

今年 3 月に、GWI のウィーン国連代表である Olivia Klemmer、Amarie Klemmer、Ingrid Szabolcs はオーストリアのウィーンで開かれた麻薬委員会の第 62 回会合に出席した。

Ingrid Szabolcs は委員会の本会議にも出席し、また「ウィーン NGO 麻薬対策連絡会(仮訳)」とともに国連薬物・犯罪事務所 (UNODC) 事務局長との麻薬に関する非公式対話やいくつかのサイドイベントにも出席した。これらのイベントに関する彼女の総括レポートは [こちら](#) をご覧ください。